

鶺鴒の木地区地域情報紙

第74号

さんぽみち

発行：地域力推進鶺鴒の木地区委員会
 編集：鶺鴒の木地区 地域情報紙編集委員会
 事務局：鶺鴒の木特別出張所 電話 (3750) 4241 FAX (3750) 2418

鶺鴒の木特別出張所管内の人口 (平成25年6月1日現在)	
男	11,299人
女	12,136人
計	23,435人
世帯数	12,497世帯

着任の挨拶



鶺鴒の木特別出張所 所長 近藤 高雄

どうぞ、よろしくお願ひ致します。

モットーは、現場の感覚を大切にしながら仕事を進めて行くことです。時間が許す限りまちへ出て、直接皆様方と顔を合わせ、交流を深めて行きたいと思っております。また、地域力の推進の拠点として、出張所は地域の皆様に気軽に寄っていただければという場所でありたいと思っております。

鶺鴒の木地区には、豊かな緑、オ・ア・シ・ス運動やふれあい元気塾など沢山の宝物があります。しかし、何と云っても七つの町の皆様が何時でも互いに協力しながら地域の事業を進めてくれる、そして皆様が温かく優しく、これが最大の宝物であると思ひます。これまで、皆様が築き上げたこの宝物を大切にしながら、住み良いまちづくりのために微力ではありますが、全力を傾ける所存でございます。どうかよろしくご指導の程お願い致します。

平成二十四年度 大田区政功労者

(敬称略)

明るい選挙推進協議会委員 松本 浩二

民生委員・児童委員 種村 由美子

堀江 敏雄

蓮池 攻

スポーツ推進委員 岩間 弘

森田 光一

夏の行事予定

日程は予定です。詳しくは各町会掲示板などでご確認ください。

【盆踊り】

7月24日・25日・26日 (鶺鴒の木三丁目中央児童公園)

8月17日・18日 (鶺鴒の木八幡神社)

8月17日・18日 (ちどりみなみ児童公園)

8月21日・22日 (銀嶺会商店街・松栄会商店街)

8月24日・25日 (旧観月前通り)

8月24日・25日 (旧観月前通り)

8月31日・9月1日 (南久が原児童公園)

9月14日・15日 (御嶽神社)

9月14日・15日 (鶺鴒の木八幡神社)

7月24日・28日 (鶺鴒の木駅前商店街)

7月21日・26日 (南久が原児童公園)

7月22日・28日 (つきやま公園)

7月25日・31日 (千鳥いこい公園)

7月22日・26日 (多摩川河川敷)

編集委員紹介

今年度の「さんぽみち」編集委員です。よろしくお願ひ致します。

- 鶺鴒の木東町会 井原 俣夫・木村 希代子
- 鶺鴒の木西町会 佐瀬 光男・村松 茂
- 鶺鴒の木二丁目町会 加藤 多津美・島海 美香
- 鶺鴒の木三丁目町会 大関 則子・田中 克美
- 千鳥南町会 渡辺 靖彦・竹井 純子
- 千鳥北町会 田中 裕・猪原 儀久
- 南久が原一丁目町会 太田 裕三・向山 和美

編集後記

今年度は節目の時期、別れと出会いの場、今までの人生の中でどれほどの人と出会い別れてきたことでしょうか。地域の発展に尽力されたいと願ひます。皆様方と一緒に歩んでいきたいと思います。

編集長 渡辺靖彦

就任の挨拶



鶺鴒の木地区町会連合会 会長 大芦 重雄

日頃は町会活動に、ご理解いただき、ご協力をお願い致します。

長年にわたり、連合町会長を務められました佐藤大助様が健康上の都合により、ご退任される事となりました。今更ながらその多大なる功績に対し、誠に頭が下がる思いとその偉大さに改めて敬意に値するものがございます。

この度、連合町会長を受けるにあたり私のような弱者がと思っておりますが、前任者が敷かれた鶺鴒の木地区のモットー「オアシス運動・水と緑・安心安全な明るい街づくり」の路線を継承し、今後も積極的に取り組む誠心誠意、重責を全うするよう努力して参る所存でございます。関係行政機関はもとより各町会長、各委員、地域の皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

尚、この度退任されました連合町会長の佐藤大助様、鶺鴒の木二丁目町会会長松本浩三様には多年に亘り町会活動にご尽力頂き有難うございました。これからもご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

鶺鴒の木二丁目町会 会長 岩間 勇治



この度、鶺鴒の木二丁目町会会長を継承することになりました。前任者として、藤前会長のご指導・ご協力を引き続きお願い申し上げます。

鶺鴒の木東町会 会長 五十嵐 稔



この度、佐藤前会長の後継として、藤前会長の経験と実績を積み重ねてまいりました。引き続き、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

退任の挨拶



鶺鴒の木地区町会連合会 前会長 佐藤 大助

地域の皆様方には、日頃より町会連合会の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

この度、健康上の理由により町会連合会の会長を、退任することになりました。思えば昭和三十七年に鶺鴒の木東町会副会長、四十年に町会長、また五十四年には鶺鴒の木地区町会連合会長に就任し、五十数年が経ちました。

光陰矢の如しと申しますが、あつという間だったような気が致します。振り返りますと、数々の思い出が胸をよぎります。お蔭様で、無事に職務を全うすることが出来ました。皆様方へ心から厚くお礼申し上げます。

大芦重雄新会長の下で、七町会が一丸となり、鶺鴒の木地区がいつまでも安心して暮らせるまちであるよう願っております。引き続き、町会連合会の活動に皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

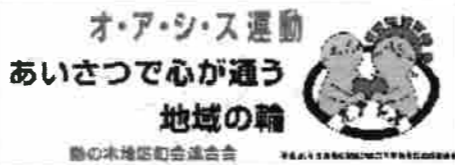
最後にありますが、皆様方の益々の発展とご健康を祈念致します。退任のご挨拶とさせていただきます。

退任の挨拶

鶴の木二丁目町会
前会長 松本 浩三



このたびは健康上の都合で鶴の木二丁目町会の会長職を辞することになりました。十二年前にわたる在任中には皆様から公私に渡り格別なご厚情、ご支援を賜り誠に有難うございました。今後は、初心を忘れず健康回復に努力しながら、地域の発展を高めるため「オアシス」運動等に努力して行きたいと思っております。終りに皆様方のご健康ご発展を祈念として挨拶とします。



着任の挨拶

千鳥小学校
校長 本田 幸彦



このたび、小宮恭子校長先生の後任として千鳥小学校に着任いたしました。学校や地域のことをよく知り、保護者や地域の皆様と手を携え、子供たちのよりよい成長を目指して、教育活動に全力で取り組んでまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

千鳥小学校 PTA会長 高田 計

日頃よりPTA活動にご協力いただきありがとうございます。今年度、千鳥小学校のPTA会長を務める事になりました高田計と申します。よろしくお願いたします。初めての経験で、慣れない事も多々あるかと思いますが、先生方、保護者の皆様、そして地域の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、子ども達が笑顔で充実した学校生活を送る事ができるよう、できる限り努めていきたいと思っております。今年一年間、どうぞよろしくお願致します。

大森第七中学校
校長 三浦 哲夫



今年度、大森八中より異動いたしました。初任校が東調布中でした。その後、目黒・文京と異動したので、東京を南北に一周して、振り出しに戻った感じがしています。これまでの七中の良い点は継承し、改めるべき点は改めて、生徒同士は元より生徒と教師、学校と家庭・地域が、信頼感で結ばれる学校づくりを努めてまいります。どうぞよろしくお願申し上げます。

大森第七中学校 PTA会長 黒澤 奈々子

今年度、大森第七中学校のPTA会長となりました黒澤と申します。いつも七中生を温かく見守っていただきありがとうございます。地域の方々のお陰で大変落ち着いた学校生活を生徒達は送っております。震災等を経験し改めて地域のつながりの大切さを実感しております。先生方、保護者、地域の方々、橋渡し役として、この一年間活動してまいりますので、どうぞよろしくお願致します。

第62回大田区子どもガーデンパーティー

多摩川台会場
大会長 保莉 一興



4月21日(日)に大田区立多摩川台の多摩川公園会場の多摩川台担当が、少対の木青少対の会より五回のより五回の会を議を経て当日を迎えましたが、前夜より雨で会場を東調布第一小学校、東調布第三小学校の千鳥小学校の手作りコーナーや、ジュニアリーダーの考えてくれた遊べる賑わいで、あいのこ、2候の中、2の大勢の方々が集まって終える事ができました。皆様ありがとうございました。どうぞよろしくお願致します。

大田区立多摩川台園調布南・鶴の木緑地

平成25年4月1日から大田区立多摩川台園調布南・鶴の木緑地が開設しました。多目的に利用していただくように緑地として整備し、鉄棒を配置しました。この緑地は嶺町小学校が一時的に平日の体育の時間でも使用しています。また、サッカーや野球等の練習が行える多目的の球技場を整備しました。この多目的球技場は無料で、うぐいすネット利用施設です。平成25年7月1日からサッカーやアメリカンフットボール、ラクロス等が行える球技場が利用開始予定です。この球技場は有料で、うぐいすネット利用施設です。



オープンスペースの普通教室



摩川上流の奥多摩杉の間伐材がふんだんに使われています。教室は、廊下側の壁を取り払い、壁面が移動式でドアのように開閉し、廊下の幅を広げてオープンスペースとなる21の普通教室と音楽室、理科室、家庭科室、図工室、メデイアセンター(図書室、パソコン室)と充実した設備の7つの特別教室、郷土資料室を備え、全校生徒数679名、一、二年生のクラスは1階、三、四年生は2階、五、六年生は3階に配置され、子ども達が使いやすいように設計されています。その他、ユニークなランチュールの「たまりばホール」と集会室、更に、4階にボタン一つで水位

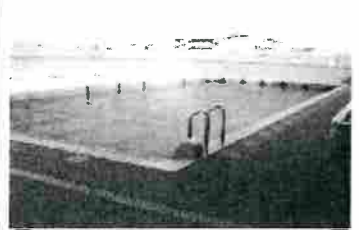
生まれ変わった嶺町小学校

大田区立嶺町小学校は、開校65周年を迎えました。昭和23年、大田区で戦後初めて出来た学校です。歳月が経過し、学区域の変更による児童数の増加、施設の老朽化等に伴い、平成23年12月、旧校舎を壊して、建て替えの工事が始まり、今年三月、第一期工事が完成、五月から新校舎での授業が開始されています。



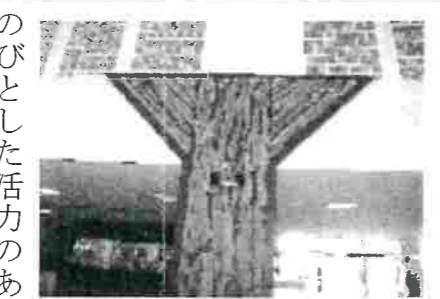
新校舎 正面入口付近

完成した新校舎は鉄筋コンクリート造り四階建て、延べ床面積は約七千九百八十平方メートル。エレベーター、冷暖房完備、バリアフリーになっていきます。校門を通り玄関ホールに入る「さくら」をイメージしたオアシスが目に飛び込んできます。これまでに味わったことのない心地よい木の香りが漂う新校舎です。内装は木造を思わせるように多



25mプール全景

庭園の趣



旧校舎のさくらの木を使用した玄関ホールのオブジェ

のびとした活力のある学校」と保護者、地域の皆様との繋がりと温かさに相応しい学校教育を目指して参ります。と、こやかに語っておられました。体育館などの第二期工事が引き続き、平成27年8月末までかかるそうです。嶺町小学校は多摩川の近くに生かして、恵まれた環境を存分に象徴として、素晴らしい新校舎に生まれ変わりました。

〈所在地〉
田園調布南6番、鶴の木三丁目32番、鶴の木三丁目33番地先多摩川河川敷内

〈うぐいすネット利用案内〉
利用者登録は、全てのうぐいすネット受付窓口で行っています。お近くの窓口をご利用ください。

〈問合せ〉
区役所1階うぐいすネット受付窓口
5744-1230

取材・文・写真 渡辺 靖彦